

書名		2 東 書
項目	新編 新しい社会	
特 色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○大切な語句を「ことば」で解説し、「まとめる」で単元で出てきた語句を生かせるように示し、学習した内容が定着できるようにしている。 ○「まなび方コーナー」では、学習に対して調べ方、資料の見方、読み取り方を示し、系統的に資料活用の技能ができるように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学習の進め方」では、調べる方法や、まとめ方等が提示され、児童の思考の流れがわかる学習過程となっている。また、社会への関わり方を自分のこととして選択・判断できるように工夫されている。 ○単元の終末にある「まとめる」で、図や表など多様なまとめ方や視点、表現方法が示され、児童が表現するための参考となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習の進め方」に「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」を明記し、見通しをもって学習できるようにしている。 ○「いかす」で子どもの意欲が高められるよう、人々の願いや、将来を見据えたり、希望をもたせたりする工夫がある。また、発達段階に応じて地域社会から世界の国々の人々まで考えるように工夫されている。</p> <p><学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○問題解決的な学習の進め方が例示されていたり、「まなび方コーナー」では、学習過程における活動のヒント等が明示されている。 ○単元末に「ひろげる」を設け、興味・関心を高められるようにしている。また、「いかす」段階の児童の思考が更に広がるように工夫されている。</p>
	資 料	<p>○興味・関心を高められるよう資料が配列されたり、経年変化がわかりやすい写真やグラフが掲載されたりして、読み取りやすくなっている。 ○資料の年次、出典を明記したりして、資料番号や記号がつけられている。 ○事例地に偏りがなく、学校や地域の実態等に対応した配慮がされている。</p>
	表記・表現	<p>○キャラクターの台詞を通し、社会的事象の見方・考え方のアドバイスが記述されている。 ○単元の学習問題や本時のめあて等、学習過程を色分けして、各段階の活動が明確にされている。</p>
総 括	<p>○児童にとって、単元の見通しがわかる構成（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）になっており、問題解決的な学習が進められるように工夫されている。 ○巻頭に前学年で学んだこと、本学年で学ぶことの概要が見開きで示され、年間の流れがつかめ、主体的な学びにつなげられる構成といえる。</p>	

書名		17 教出
項目	小学社会	
特色	内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○大切な語句を「キーワード」で示し、「まとめる」で単元に出てきた語句を生かせるように示し、学習した内容が定着できるようにしている。 ○「学びのてびき」では、学習場面に応じた調べ方や資料の見方、読み取り方を示し、資料活用の技能を習得できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「社会科の見方や考え方」では、何をどのように考えるのかということが示されている。見開き最後に「次につなげよう」が設定されており、単元を通した思考の連続や深まりを促すようにしている。 ○「まとめる」のところで、自分の考えを表現しやすいように、まとめ方が例示されている。単元が進むにつれて、自分の考えを言葉でまとめることができるような工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習の進め方」で「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」を明記することで、自発的に学習ができるようになっている。 ○「つなげる」で学習してきたことを基に自分たちにできることを考え、地域社会に対する誇りや愛情や、日本や世界の国々の人々のことも考えられるように自覚などを促すようにしている。</p> <p><学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「この時間の問い」、「次につなげよう」という構成で、本文を見て学習問題が追求しやすく一貫性がある。 ○「ひろげる」では、解決された学習問題を更に追究できるように工夫されている。</p>
	資料	<p>○読み物資料や文献資料が多く、系統性を意識した資料が配列されたり、資料の年次、出典を明記したりして、資料番号や記号がつけられている。 ○事例地に偏りがなく、学校や地域の実態等に対応した配慮がされている。</p>
	表記・表現	<p>○キャラクターの台詞から、社会的事象の見方・考え方の視点が明示されている。 ○「まなびリンク」で、ウェブサイトで更に詳しく調べることができるようになっている。 ○3・4年生では、1時間の「活動」の流れが明示されわかりやすい。</p>
総括	<p>○「この時間の問い」、「次につなげよう」という構成は、児童の思考の流れに沿い、主体的に学習できるようになっている。 ○関係者（〇〇さん）の話が多くあり、児童が問題解決のヒントとなるようになっている。</p>	

書名		1 1 6 日 文
項目	小学社会	
特色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「キーワード」や「むずかしい言葉」についての解説があり、巻末の索引ではキーワードのマークを付け、どこに掲載されているかすぐにわかるようにして、学習内容の定着を図っている。 ○「学び方・調べ方コーナー」では調査方法や表現方法、読み取り方を学習場面に応じて示し、資料活用の技能を習得できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えさせたい社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連に迫るために、資料を見やすく配置し焦点化している。 ○単元末に学習問題について振り返る記述があり、自分のこととして考え、自分たちにできることを話し合う構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方」で学び方を明記したり、巻頭に「社会科の学習でたいせつなこと」を示したりして、自発的に学習を進められるように工夫されている。 ○単元の学習後に学びを活かし、「わたしたちの学びを生かそう」で、発展的な学習内容を紹介し、国土や歴史を大切にしようとする態度などを育てるようにしている。 <p><学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題が明記され、キャラクターの台詞を通して、学習の具体的なアドバイスがあり問題解決的な学習ができるように工夫されている。 ○「さらに考えたい問題」「わたしたちの学びを生かそう」を設けることで、解決された学習問題を深く追求したり、発展させられるようにしたりしている。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を高められるよう資料が配列されたり、資料の年次、出典を明記したりして、資料番号や記号がつけられている。 ○事例地に偏りがなく、学校や地域の実態等に対応した配慮がされている。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターの台詞を通して、学習の具体的なアドバイスがされている。 ○学習の基本となる語句を「キーワード」で取り上げている。 ○学習の進め方や児童の疑問を本文中に示している。
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方コーナー」では、空間・時間・関係について、社会的な事象の視点と学習方法を明示している。 ○単元の学習問題をつくる場面において、キャラクターの吹き出しで児童の発言を例示し、学習内容の思考の助けとなるように配慮されている。 	